

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年
11 月号
Vol.70 No.821

巻頭言

良い失敗をする 鈴木雄一

会 告

2023年度城西支部研修会
第147回日暮里塾ワンコインセミナー
第18回ペイシェントケア学術大会

お知らせ

2023年度第13地区研修会
2023年度第14地区研修会
2023年度第5地区研修会

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第18回～大腸憩室について～ 安藤健一

研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 良い失敗をする	3
会告1 2023年度城西支部研修会	4
会告2 第147回日暮里塾ワントインセミナー	5
会告3 第18回ペイシェントケア学術大会	6
お知らせ1 2023年度第13地区研修会	7
お知らせ2 2023年度第14地区研修会	8
お知らせ3 2023年度第5地区研修会	9
お知らせ4 2023年度第12地区研修会	10
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	11
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第18回 ~大腸憩室について~	12
こえ	
・「第21回サマーセミナー【テーマ:X線撮影を極める~腕・知識を磨こう~】」に参加して	20
・東京都診療放射線技師会 第21回サマーセミナーを受講して	21
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.9)	22
・超音波画像研究会 第29回腹部エコー初心者講習会	23
2023年4月～9月期会員動向	24
2023年度第5回理事会報告	25
研修会等申込書	30

Column & Information

・東放技入会無料のお知らせ	19
・東放見聞録	24, 29
・お詫びと訂正	27
・学術講演会・研修会等の開催予定	28
・求人情報	31

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



良い失敗をする

業務執行理事 鈴木雄一

新型コロナウイルス感染症が2023年5月8日から「5類感染症」に移行され、約半年が経過しました。しかし、5類感染症に移行されても新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が4月上旬以降、じわじわと増え続け、いつの間にか第9波が到来しています。変異株が相次いで発生し、インフルエンザ同様に完全に収束するわけではなく、共存していく可能性が高い感染症ではないかと感じています。しかし、まだまだ新型コロナウイルス感染症の全容解明には時間がかかりそうで、日常の他のことについてもそうですが、われわれは非常に多くの情報から都度判断を迫られることになると思われます。

多くの情報から何かしらの判断を迫られる場合、選択した判断が必ずしも正解とは限りません。結果として正解になる場合もありますが、失敗することも多々あります。私の人生を振り返ってみても、正解だった！ と思うことより、失敗したな… と思うことの方が圧倒的に多いです。しかし私は、失敗することはごく当たり前のことだと思っています（楽観主義者ではありません）。その理由は、人生は一度きりで、予行演習なんてないからです。更に、世の中のあらゆる事象は、自分で制御できることはほとんどなく、不確実なわけですから、人生＝理不尽と言っても過言ではないと思っています。ですから、失敗したからと言っても過度に落ち込む必要はないと思っています。

ただし… 失敗にも良い失敗と悪い失敗があると思っています。前者は、しっかり予習や準備をして臨んだが、結果として臨んだことが達成できなかったという失敗。後者は、行き当たりばったりでなんとなく臨んだ結果、達成できなかったという失敗。同じ「失敗」でも、次に生かせる経験として得られるのは、圧倒的に前者ではないでしょうか？

掃除機で有名なダイソンの開発者：ジェームズ・ダイソン氏は、掃除機の試作品を多く作ってきたことに関して、「うまくいかないことばかり。でも、だからこそ、どうすれば改良できるかを考える。思えば、私の人生は失敗の連続でした。でも、失敗というのは面白くて、失敗があるから考える。そこから学ぶことができるのです。むしろ、たまに成功すると、後で必ず失敗が待ち構えていたりする（笑）。私は、不可能を可能にしたいのです。だから、不可能といわれることを常に探している。そうすると、失敗はもう当たり前なのです」と述べています。

私も診療放射線技師になりたての頃は、数えきれない失敗と後悔をしてきました。今思えば、もっと準備してから臨めばよかったと思うことが多々あり、まさに“後悔先に立たず”です。最近はSNSなどの影響なのか、社会が失敗に対して寛容ではなくなっている気がしています。これから日本の医療を支えていくであろう、特に若手診療放射線技師の皆さん、仕事も人生もしっかりと準備をして臨んで、失敗を恐れないでください。私個人としては、若手の失敗を共有して、次に成功となるように導いていきたいと思っております。

また、東京都診療放射線技師会の会務運営も同じだと思っています。大きな失敗（東京都民や会員の不利益）は許されないことではありますが、準備して臨んだ結果が失敗だったとしても、次に同じような状況となった場合、成功だったと皆さまに判断していただけるように会務運営に尽力していく所存です。まだまだ若輩者ではございますが、今後ともご指導ならびに東京都診療放射線技師会へのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会 告

1

2023年度 城西支部研修会 (Web開催)

テーマ「救急医療最前線 高エネルギー外傷」 ～救急医療での診療放射線技師の役割～

高エネルギー外傷とは、まさに名前の通りで、高いエネルギーが加わって生じた外傷のことをいいます。このような患者さんが救急搬送されてくる場合には、撮影を担う診療放射線技師も重篤な外傷が起こっているかもしれないと身構えて診療に臨む必要があります。今回救急現場での診療放射線技師の役割と心構えについて、症例を交えて解説していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～ プログラム ～

1 「外傷初期診療における放射線科の重要性」

帝京大学医学部放射線科学講座 釘宮 愛子 先生

2 「外傷診療における診療放射線技師の役割とHERS !!」

済生会横浜市東部病院 放射線部 稲垣 直之 先生

記

日 時：2023年11月10日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無料

定員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。

申込締切日：2023年11月3日（金）

問い合わせ：城西支部 E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長 布川嘉信

第9地区委員長 西郷洋子

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

2

第147回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催） テーマ「造影剤副作用に対する取り組みと院内緊急コール症例の解析」

講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 佐藤 英幸 氏

第147回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回の日暮里塾ワンコインセミナーは、造影剤の副作用について勉強していきたいと思います。順天堂大学医学部附属順天堂医院の佐藤英幸先生を講師に迎え、順天堂大学医学部附属順天堂医院での造影剤副作用に対する取り組みや院内救急コール症例の解析結果についてご講義いただきます。日頃からの取り組みが重要となる副作用対策の参考になると思います。ぜひご参加の程よろしくお願い致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月21日（火）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはURL、パスワードを返信致します。

定員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2023年11月14日（火）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.0カウント付与

問い合わせ：教育委員長 小林隆幸 E-Mail：kyouiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

第18回ペイシェントケア学術大会

テーマ「AIを活用した近未来医療」

第18回ペイシェントケア学術大会は会場で対面形式の開催とさせていただきます。

今、さまざまな業種において重要視されている分野でもあり、医療業界においても例外ではない、人工知能「AI」についてスポットをあて、今回のテーマとさせていただきました。

現在、そして未来に向け患者さまのために「AI」がどのように活用され進化していくのか、各分野の第一線でご活躍されている先生方をお招きしご発表いただきます。人工知能「AI」について理解を深め、共有したいと考えております。

事前登録とさせていただきます。参加費については当日会場受付にて徴収致します。参加者の皆さまが安心してご参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

13:00 開会式

13:05 シンポジウム テーマ「医療現場でのAIの活用～現状と展望～」

東京医科大学病院	横山 �剛 氏 (診療放射線技師)
KNI 北原国際病院	森口真由美 氏 (看護師)
杏林大学医学部附属病院	若林 進 氏 (薬剤師)
日本大学医学部附属板橋病院	相馬 史 氏 (臨床検査技師)
東京女子医科大学病院	石森 勇 氏 (臨床工学技士)

14:30 特別講演 「韓国における人工知能(AI)を活用した放射線検査とソウル特別市放射線士会の紹介(仮)」

講師: Chung-ang University hospital Minhyuk Choi

15:00 都民公開講座 「人工知能により近未来の医療はどのように変わらるのか？」

講師: 日本大学生産工学部 講師 大前 佑斗 先生

16:00 閉会式

記

日 時: 2023年11月25日(土) 13時00分～16時00分

開催場所: 駒澤大学 駒沢キャンパス (東京都世田谷区駒沢1-23-1)

受講料: 診療放射線技師 1,000円、他職種及び一般参加・新卒かつ新入会員* 無料

申込方法: 東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日: 2023年11月18日(土)

定員: 特に定員人数は設けておりませんが事前登録をお願い致します。

カウント付与: 日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ: 学術委員長 市川篤志 E-Mail: gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2023年度 第13地区研修会（Web開催）

テーマ「令和3年4月1日施行・改正電離放射線障害防止規則からの変化」

令和3年4月1日より「改正電離放射線障害防止規則」が施行・適用され2年が経ちました。皆さまのご施設の運用は落ち着いてきましたでしょうか。

今回第13地区では、法令改正後の変化と現場での実際の運用に関して研修会を開催致します。

1つ目は、株式会社千代田テクノルより講師を招き、法令改正後の変化をメーカーのデータなども交えお話しいただきます。

2つ目は、現場で実際に運用されている施設より、改正前の準備・改正後の運用・今後の対応などをお話しいただきます。より良い運用実現のため皆さまのアドバイスもいただけると幸いです。

多くのご参加をお待ちしております。

～内 容～

①「水晶体線量限度引き下げ後の従事者被ばく防護」

講師：株式会社千代田テクノル 線量計測技術課 副主事 古谷 一隆 氏

②「水晶体線量限度引き下げに向けての当院の対応、その後の運用」

講師：公立阿伎留医療センター 岩本 達志 氏

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月9日（木）19時00分～20時30分（講演時間：約30分×2名 + 質疑応答）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月6日（月）

問い合わせ：第13地区委員長 鮎川幸司 E-Mail：area13@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

2

2023年度 第14地区研修会 (Web開催)

テーマ 「Z世代学生の就職動向」

講 師：群馬パース大学 今尾 仁 先生

本年度の第14地区研修会では、コロナ禍をオンライン授業で過ごして来た、Z世代学生の就職動向について、実際に教育の現場で就職に携わる先生からお話を伺います。

来年度から入職してくる若手の世代は、コロナウイルスの影響でオンライン授業を受けてきた新しい価値観の世代になります。さらに、今後、高齢者増加、若年者減少の影響は拡大する一方で、人材確保はより大きな課題となることでしょう。今後の職場環境や教育を考える上で、ご興味のある方、詳しくお知りになりたい方など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年11月24日（金）19時00分～19時45分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月17日（金）

問い合わせ：第14地区委員長 宮谷勝巳 E-Mail：area14@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第5地区研修会〈ハイブリッド開催〉

テーマ「急性期脳梗塞診療の最前線」
～患者さんを救う脳卒中診療の【脳力：knowledge】を高めよう～

講 師：日本医科大学付属病院 脳神経内科 齊藤 智成 先生

脳卒中は、がん、心臓病とともに三大疾病と呼ばれ、近年の日本人の死因としては第4位であり、日々の救急診療でもよく遭遇する疾患です。脳卒中の中でも、特に急性期脳梗塞に対する治療は、局所血栓回収療法、血栓溶解療法の普及により、この10年で目覚ましい進歩と発展を遂げており、これまで寝たきりとなるような脳主幹動脈閉塞症例でも歩いて帰れる時代が訪れています。これには、病歴の聴取・神経学的診察やさまざまな職種の連携、適切な画像診断および治療を行い迅速な再灌流療法を実現する必要があります。

私たち診療放射線技師は急性期脳梗塞の診断や治療の過程で、さまざまな画像を用いて診療を支える重要な役割を担っていますが、普段かかわりのある部分は診療の一部であり、脳梗塞の発症から診断、治療とその後の経過について理解を深めていくことはチーム医療を支える一員として重要だと考えます。

2023年度の第5地区研修会では、日本医科大学付属病院 脳神経内科 齊藤智成先生を講師に迎え、脳梗塞診療の現状について幅広くご紹介していただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

※8月4日開催予定でしたが、諸事情により開催日が変更となりましたことをお詫び申し上げます。

8月4日開催で参加登録された皆さまは、登録不要です。Zoom : ID等をお知らせ致します。

【Web参加希望の皆さまへ】

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

【会場参加希望の皆さまへ】

新型コロナウイルス感染状況により、Web配信のみの開催形式とさせていただく場合もございます。

記

日 時：2023年12月1日（金）19時00分～20時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：無 料

定 員：会場 20名、Web 50名（各先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年11月25日（土）

問い合わせ：第5地区委員長 中田健太 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

以上

お知らせ

4

2023年度 第12地区研修会 (Web開催)

テーマ「整形外科医に聞く 骨粗鬆症における画像解析の必要性
～DEXA法、CT画像再構成～」

講 師：東大和病院 整形外科科長 山岸 賢一郎 先生

現在、高齢化社会が進むなか骨粗鬆症患者が1,000万人を超えるといわれ、社会問題のひとつとなっています。日々の業務でも椎体骨折、大腿骨近位部骨折などに高い頻度で遭遇しているはずです。その原因のひとつである骨粗鬆症を予防するためには、骨質、骨量から骨の強度を把握するDEXA法が欠かせません。「骨密度なんて誰でも撮れるだろ」と軽く考えていませんか？

普段、「骨折をした」ときの画像診断が注目されがちですが、今回、「骨折をしない」ための予防医学に必要不可欠な画像解析に注目して、DEXA法を中心に、整形外科医師の視点から詳しく解説していただきます！

整形外科領域にとって画像診断は欠かせないものであり、われわれの撮影した画像がいかに必要とされ、治療に活用されているかを知る貴重な時間になるはずです。新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

記

日 時：2024年2月8日（木）19時00分～20時00分

開催方式：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月4日（日）20時00分

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：area12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 5

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区的表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

RR 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報

お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区的特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

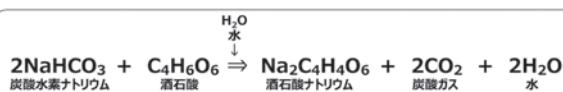
そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、番外編として硫酸バリウム製剤について、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

前回のおさらい

前回は、発泡剤についてと、注腸X線検査・大腸用の硫酸バリウム粉末製剤について、ご説明させていただきました。発泡剤発泡の基本原理についてですが、発泡剤は、炭酸水素ナトリウムと酒石酸の配合剤です。これに水が加わると化学反応が起り、炭酸ガスを発生させます（図1）。

発泡剤発泡の原理



炭酸水素ナトリウム(重曹)と酒石酸の化学反応を利用して炭酸ガスを発生

理論上1gの発泡顆粒から
約123mLの炭酸ガスが発生(0℃,1気圧時)

図1

発泡剤の取り扱いの注意点としては、主成分である炭酸水素ナトリウムは、高温（約50℃以上）で炭酸ガスと水に分解してしまいます。一旦水が発生すると、どんどん反応が進んでしまうため、湿度の高い場所や、検診車内等の高温になる可能性のある場所での放置を避け、室温で保管することが求められます。

また、発泡剤を服用する時の水が、硫酸バリウム製剤の濃度に大きく影響します。高濃度製剤では、少量の水でも濃度が大きく変化しますので注意する必要があります。具体的には、200w/v%のバリウム懸濁液150mLを10mLの水で服用した場合は188w/v%に、20mLの水で服用した場合は176w/v%に、それぞれ濃度低下をきたします。これらは造影効果に大きく影響することに繋がりますので発泡剤服用時の水についても慎重に検討する必要があります（図2）。

次に、注腸X線検査・大腸用の粉末バリウム製剤についてですが、製剤の特徴として以下の3つがあげられます。1) 腸管内においてバリウムの凝集、ひび割れが発生しにくいです。2) 大腸の微小、微細病変の描出能が良好で優れています。3) 注腸（大腸）専用硫酸バリウム造影剤としては

発泡剤服用水量によるバリウム懸濁液の濃度変化

200w/v%、バリウム懸濁液 150mL

水 10mL
発泡剤を服用

188w/v%

水 20mL
発泡剤を服用

176w/v%

少量の水で濃度が変化して、造影効果に影響します

図2

エネマスター注腸散の特徴について

- 腸内においてバリウムの凝集、ひび割れが発生しにくい。
- 大腸の微小、微細病変の描出能が良好である。
- 注腸（大腸）専用硫酸バリウム造影剤としては唯一の粉末製剤。

図3

初の粉末製剤になります。粉末のため用時調製ができ、前処置の状況に応じて（腸内残存水分量の程度に応じて）濃度調製も可能です（図3）。

注腸X線検査用の粉末製剤と上部消化管用の粉末製剤の違いについてですが、同じ粉末製剤ですが一番の違いは、硫酸バリウムの粒子径になります。上部消化管用の高濃度低粘性バリウム製剤は、粒子径が粗粒子中心となりますが、注腸X線検査用の粉末製剤は、微粒子中心の配合となります（図4）。

これらの特徴や物の違いについて、理解して使用することが重要となります。

1 | 憑室とは

摺室とは、管腔臓器から突出した袋状の粘膜構造です。

摺室には、消化管壁全層がとび出す「真性摺室」と、消化管壁の固有筋層のすきまから消化管粘膜がとび出す「仮性摺室」の2種類あります。

消化管の真性摺室は消化管壁の全層を備えています。食道摺室およびメッケル摺室は真性摺室です。仮性摺室は、粘膜および粘膜下層が固有筋層を越えて突出したもので、基本的に大腸摺室はほとんどが後者の仮性摺室です。

2 | 大腸摺室とは

大腸摺室は、結腸の粘膜および粘膜下層が結腸の固有筋層を越えて突出した袋状の構造であり、

**エネマスター注腸散の粒子径分布
(上部消化管用高濃度低粘性粉末製剤の粒子径分布)**

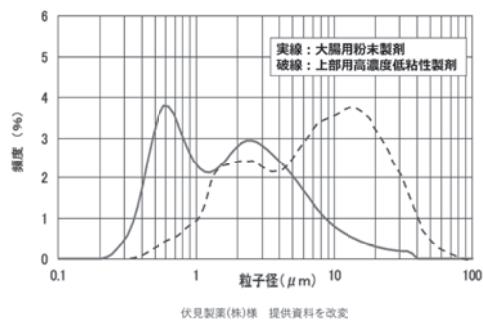


図4

腸管の全ての層を備えていないことから、仮性摺室とみなされます。

組織学的には、固有筋層が途絶または固有筋層を有さず袋状に突出した状態です（図5）。

摺室に至る成因としては、腸管の内圧の上昇に伴い、大腸壁の固有筋層の弱い部分（たとえば血管など）が腸管壁を貫き、粘膜が脱出して摺室が生じると考えられています。

具体的には、腸管壁には細かな血管が外側から入ってくる場所があり、そこでは血管が腸管壁の固有筋層を貫いており、固有筋層が小さく欠損しているため圧力に弱いといわれます。便秘で大腸の内圧が上昇した状態や、加齢に伴う影響などで、圧に耐えられなくなると腸管壁が外に押し出されて摺室ができると考えられています。

では何故、大腸の内圧が上昇するのかを考えてみたいと思います。

食生活の欧米化により肉食が増え、食物繊維の摂取量が減少したため、便秘や腸管のれん縮が強くなり、結果として内圧が上昇すると考えられています。

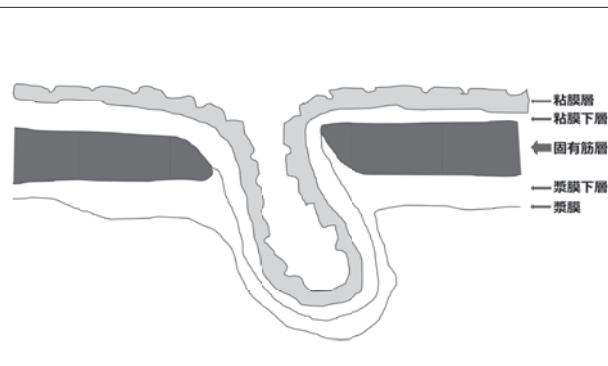


図5

もう一つ、憩室ができる原因として考えられるのは、上記でも述べましたが、加齢による腸管壁の脆弱化があげられます。これらの原因により、大腸憩室が形成されると考えられます。

大腸に憩室がある状態を大腸憩室症といいます。

憩室は大腸のどこにでも生じますが、好発部位は、主にS状結腸に多く形成されます。これは、大腸の内圧上昇に起因することに矛盾しません。腹膜翻転部より下方に生じることや、直腸に及ぶことはまれです。憩室の径はさまざまですが、典型的には3~10mmです。大腸憩室症は通常、複数の憩室を有します。

大腸憩室の保有率は日本人全体で約24%とされ、年齢とともに上昇します。欧米人に比較して少ないとされる一方で、年々増加傾向ともいわれています。日本を含むアジア人では、右側結腸（上行結腸～肝臓曲）にできやすく、加齢とともに左側（下行結腸～S状結腸）にも発生する割合が増加します。欧米人では左側に多いとされますが、近年の食生活の変化や生活様式の欧米化に伴い、日本でも左側結腸型が増えているといわれています。なお、大腸がんとの関連性は不明とされております。

憩室自体は通常は無症状です。問題となるのは、炎症を起こしたとき（憩室炎）や出血したとき（憩室出血）です。

憩室は腸の壁が薄い場所にあるため、炎症が強いと穿孔して膿瘍を形成することがあり、強い腹痛や発熱を伴います。さらに腹部全体に炎症が広がった汎発性腹膜炎となると、敗血症やショック（血圧が急激に低下し臓器の機能障害などを起こすこと）に陥る危険性があります。汎発性腹膜炎は起こさなくても、近くにある臓器の膀胱まで炎症が届き、瘻孔（臓器がほかの臓器や体外と交通している状態）を形成することもまれにあります。その場合は排尿困難、糞尿（尿に便が混じること）、気尿（尿に腸管ガスが混じること）を発症することができます。

大腸憩室からの出血は突然の下血で自覚され、腹痛を伴うことはほとんどありません。多くの場合、自然に止血するものの（自然止血率70~90%）、繰り返し出血する場合や、まれにショックになるほどの大量出血をすることがあります。

急激な症状がない場合でも、密集した多発の憩

室ができるとその領域の腸管は徐々に肥厚し、進展不良となり短縮して徐々に内腔が狭くなっています。すると便通異常・通過障害を伴うようになります。そこで慢性的に炎症が繰り返され、さらに腸管が狭くなり狭窄を呈し、腸閉塞症状をきたすことがあります。

腹痛や発熱、あるいは下血といった症状から「急性腹症」として、血液検査に加えてCT検査・超音波検査などの画像検査を実施して発見されます。無症状では、大腸がん検診などで大腸内視鏡検査や注腸X線検査が行われた際に偶然発見されることも多いです。

無症状のものは、特に治療の必要はありません。

憩室炎では、一般に抗菌薬の投与が行われますが、食事制限と腸管安静も大切なため、炎症の程度により絶食・補液が必要であれば入院治療となります。なお、治療効果があり症状が落ち着いた後は、炎症の原因に大腸がんなど器質的疾患の有無を検索するため、大腸内視鏡検査や注腸X線検査を受けることが勧められます。

膿瘍を形成している場合、その程度により膿瘍ドレナージや手術的処置が選択され、必要に応じて、腹腔内洗浄や大腸切除が行われます。

慢性的な炎症で腸管が狭窄して通過障害をきたし腸閉塞になった場合も、その領域の切除が必要となります。

穿孔性腹膜炎の場合にも手術が必要となります。それは緊急手術であり、腹膜炎の状況により、大腸切除のほか「人工肛門造設術」を行うこともあります。

憩室出血に対する止血には、大腸内視鏡による「内視鏡的止血術」や、血管内カテーテルによる「動脈塞栓術」が行われます。先に述べたように自然に止血することも多いため、軽微であれば絶食・補液による腸管安静が基本となり、慎重に経過観察します。ただし、繰り返し出血する場合については、危険な大量出血の場合と同様、最終的に大腸切除が必要となることがあります。

3 | 症例：単純憩室

スクリーニングで実施された注腸X線検査の画像を供覧します（図6～図24）。

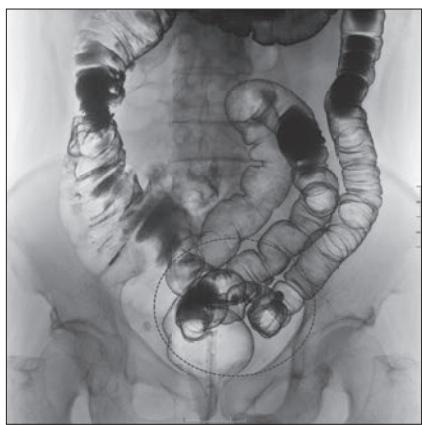


図6

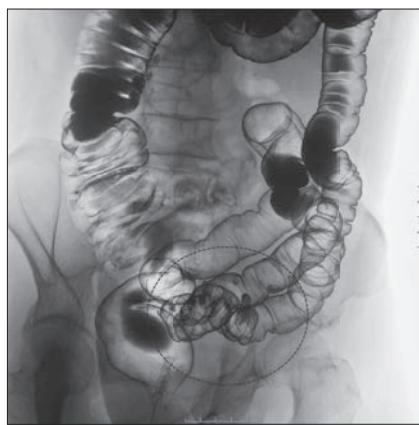


図7

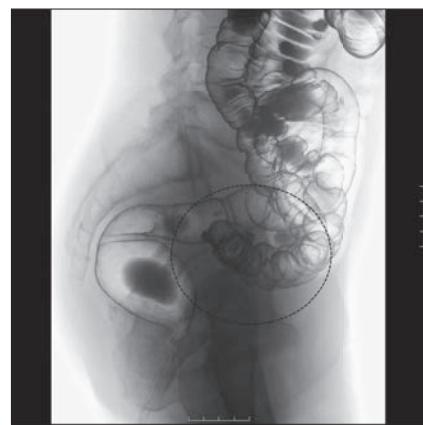


図8

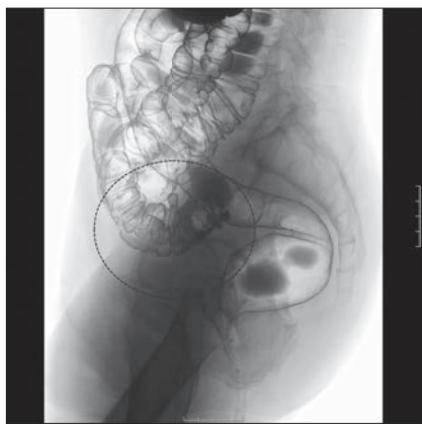


図9



図10

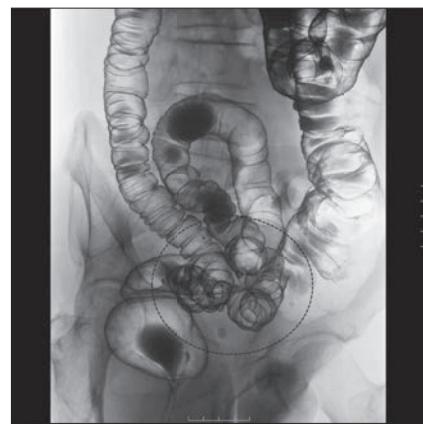


図11



図12

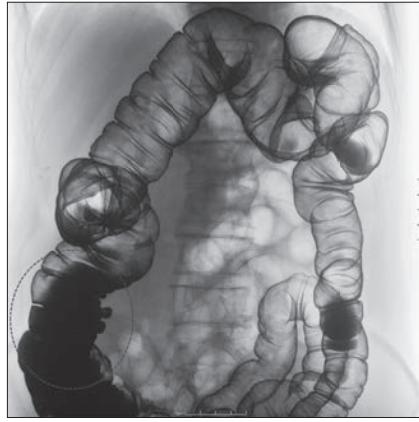


図13

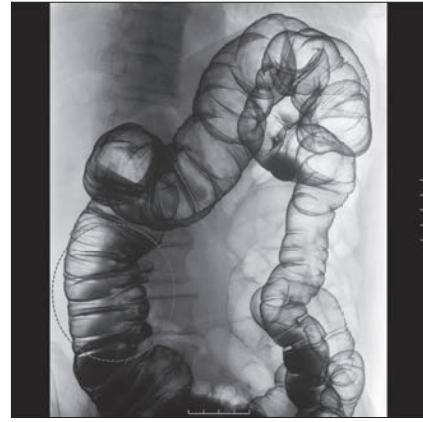


図14

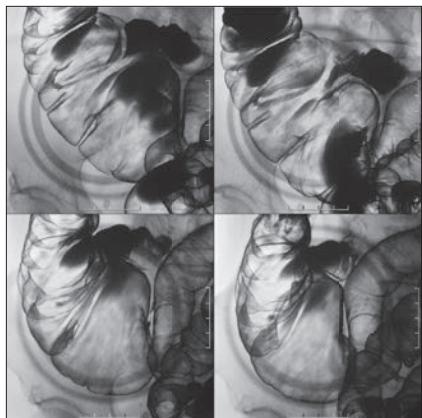


図15

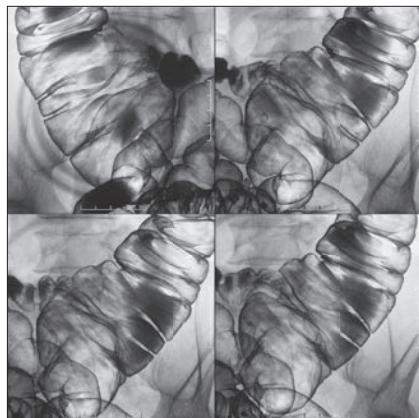


図16

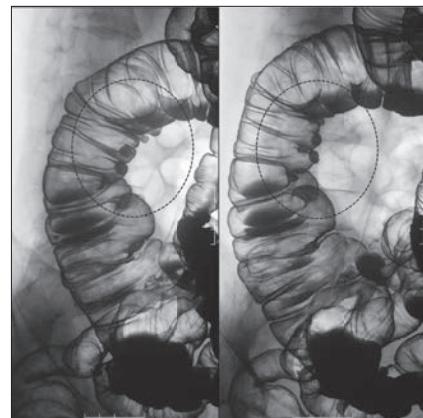


図17

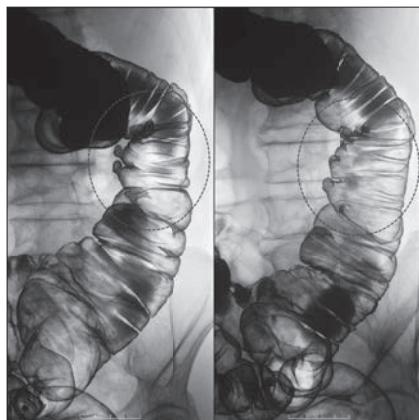


図18

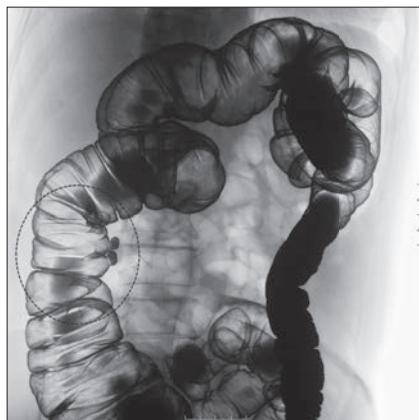


図19

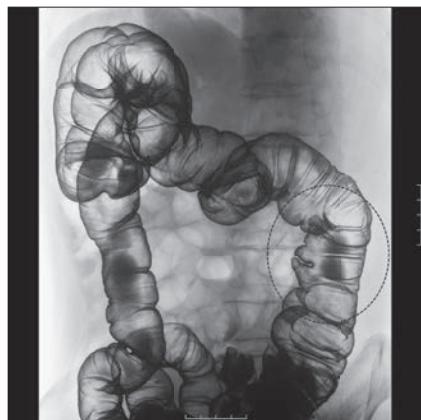


図20



図21

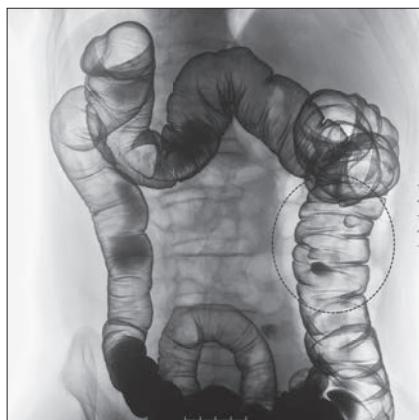


図22

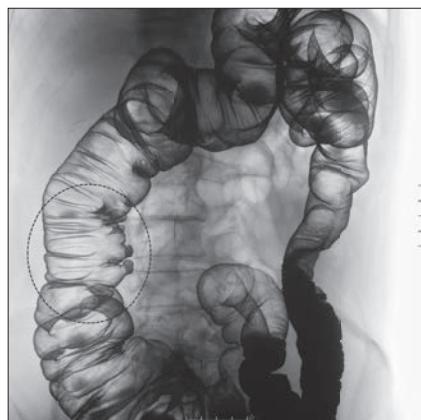


図23

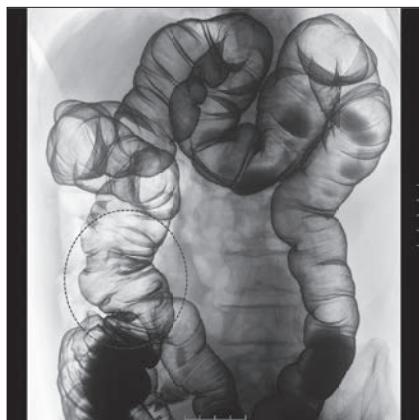


図24

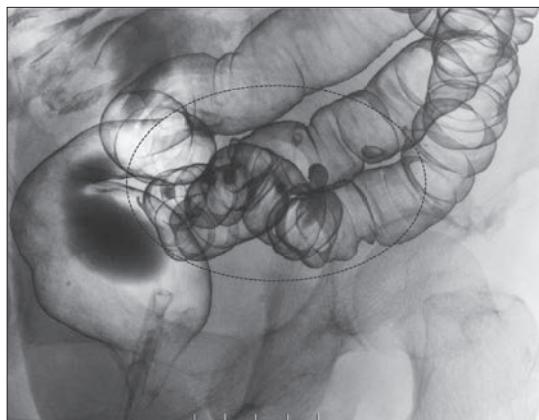


図25

S状結腸に、複数の憩室を散見します。点線で囲まれた部分に憩室が存在します。下行結腸や横行結腸には憩室を含めた明らかな所見は認めません。右側の深部結腸においては、上行結腸に憩室を認めます。同じく点線で囲まれた部分に憩室が存在します。

S状結腸部の拡大像をみると、憩室はあまり密集しておらず、基本的には形の不整や伸展不良等の所見は認めません（図25）。

上行結腸部の拡大をみると、4つの憩室が側面像（矢印）で突出像として、正面像（矢頭）で透亮像として認めます。S状結腸と同様に、憩室はあまり密集しておらず、形の不整や伸展不良等の所見は認めません（図26）。

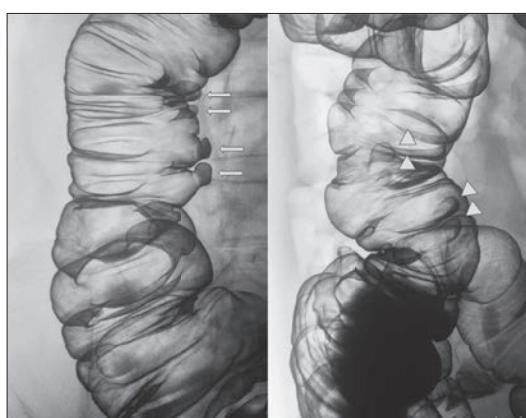


図26

いずれも単純大腸憩室で無症状の古典的な大腸憩室症です。

4 | 症例：多発憩室

過去に下腹部痛の既往があり（経過観察にて改善）、スクリーニングを含めて実施された注腸X線検査の画像を供覧します（図27～図40）。

S状結腸に複数の憩室を認めます。下行結腸や横行結腸には憩室を含めた明らかな所見は認めません。上行結腸に数個、孤立性に憩室を認めます。

S状結腸部の拡大像をみると、症例1と比較して部位的には同様の位置に憩室は存在していますが、大きな違いは、憩室が密集して多発しており、一部にやや形の不整があり、密集した多発憩室の中央部付近を中心に軽度の伸展不良を認めます。炎症後の壁肥厚によるものと考えられます



図27



図28



図29



図30



図31



図32



図33



図34



図35



図36



図37



図38

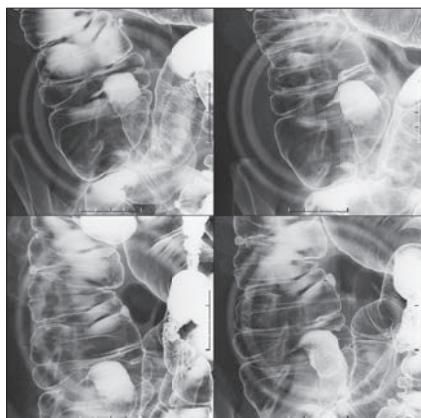


図39

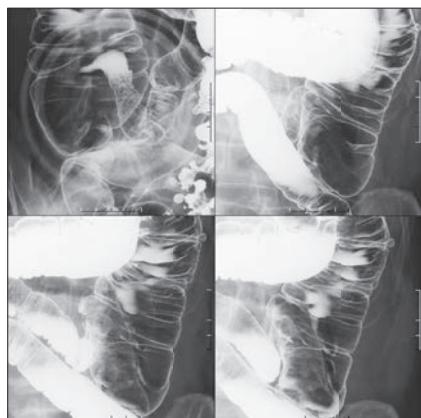


図40



図41

(図41)。

この症例は、臨床所見を加味して大腸憩室炎後の大腸多発憩室症と判断できます。

参考文献

- 伏見製薬(株)様からの資料提供
- 大腸の憩室症：MSDマニュアル家庭版
(msdmanuals.com)

5 | おわりに

今回は、大腸憩室について、その概念や発生機序、頻度や合併症について、お話しさせていただきました。また症例は、日常臨床でよく遭遇するシンプルな大腸憩室症の症例を提示させていただきました。次回は、合併症を伴う大腸憩室症の症例を中心にお話しさせていただきます。

技師会に入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会

新卒・既卒問わず会費

5,000円



必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者

JART（初年度会費5,000円+ 入会費無料）

+ TART（~~5,000円~~ 今だけ0円 = 5,000円）

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！ 詳細はこちら→



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

こえ

「第21回サマーセミナー【テーマ：X線撮影を極める～腕・知識を磨こう～】」に参加して

武藏村山病院 村田亜美

入職時からWebでのセミナーしか参加したことがなかったので、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、対面形式でのセミナーに参加するのは今回が初めてでした。このような機会を作っていただいた学術委員会の皆さまのご尽力に感謝致します。

2023年8月26日(土)に板橋区立文化会館にて行われたサマーセミナーに参加しました。テーマは「X線撮影を極める～腕・知識を磨こう～」ということで、X線撮影にフォーカスを当てた内容でした。

X線撮影の勉強会の開催は少なく、診療放射線技師として技術力や経験値があらわになるモダリティであるにも関わらず、深く学びたいと思っても難しいと思っていました。また、対面形式だと1対1で演者の皆さんに直接質問がしやすい環境で、Webとこんなにも違うのかと驚きました。

「骨・関節を理解する」から始まり、椎体、上肢、下肢と基礎から臨床で使えるワンポイントテクニックまで幅広く学ぶことができました。まず初めにメーカーからの最新情報がありました。胸部の単純X線撮影においてAI技術を用いた病変検出ソフトで病変の検出を行い、腫瘍影や気胸などを判定してくれるものでした。多くの施設でX線画像を放射線科

医が見ない中、オペ前や肺野病変を診療領域としない診療科の胸部単純撮影では見落としの報告も耳にします。AI黎明期のいま、その有用性を高く感じました。当院では胸部単純撮影はエネルギーサブトラクションも一部使用していますが、それとの対比にも興味を持ちました。

次に、市川先生より骨・関節についての構造や、組織の細かいところをお話しいただきました。関節の運動軸や形状など、今まで自分の中で理解していたものとは違う点もあり、勉強になりました。

椎体編では、この事故ならここが骨折・脱臼しやすいなど、受傷時の様子を見ていくとある程度推測できるノウハウを学びました。上位頸椎の撮影の工夫については、画像処理のみに頼らず、診療放射線技師として撮影法で見せる技術を知ることができました。また、疼痛のために不適切な肢位で、妥協せず正確な情報を医師に伝えることが重要であると改めて認識しました。

上肢編では、これまで先輩方に教わってきた内容と自分なりに理解してきたことの復習となり、より理解を深めることができました。特にストレッチャー上での撮影においては、いつもどのように撮影を行えばよいか頭を悩ませていましたが、目線を変えるだけで患者の苦痛を少なくするだけでなく、診断価値の高い画像を提供できることを学びました。

下肢編では、星座別の交通事故の特徴から始まり、受傷パターンから撮影方法まで幅広く解説していました。診療ガイドラインには角度や肢位など細かく定められていないものもあり、やはり経験値が技術に現れる仕事ということが分かりました。

最後に、このような機会を開催していただきありがとうございました。これからもっと対面形式でのセミナーに参加し、他施設の方々と交流を通して研鑽を積んでいきたいと思います。



東京都診療放射線技師会 第21回サマーセミナーを受講して

日本大学医学部附属板橋病院 褐塚俊和

“X線撮影を極める”というテーマの、第21回サマーセミナーに現地参加させていただきました。就職をしてから新型コロナウイルスの影響により、勉強会はほとんどWeb形式で参加させていたいたい私にとって、生で講師の方の声を聞くことのできた今回の講義は得るものが多く、良い経験となりました。

今回のサマーセミナーでは、おもに整形領域の一般撮影についてご講義いただきました。撮影前に知識として必要な骨や関節の解剖・生理学的な内容から、実際の撮影に用いる知識・技術を上肢、下肢、椎体に分けて各分野、具体的な症例や撮影方法を交えながら広く深くお話しいただきました。全体を通して、まだまだ新人である私にも分かりやすく、日々の業務に取り入れていくことで、レベルアップを図れる内容であったと感じています。

初めに受講した骨と関節の理解をテーマとしたご講義では、骨の代謝機序や骨折の分類、関節の構造など、解剖学・生理学に準ずる内容をお話しいただきました。知識面でとても勉強になる内容であり、他のモダリティでも活用できる内容であったと感じています。

上肢撮影を議題としたご講義では、撮影部位ごとにルーチンとなっている撮影方法から、使用頻度の少ないであろう撮影方法まで詳しく解説いただきました。なかでもストレッチャー上の肩関節、肘関節の撮影では、普段用いている撮影方法とは異なる部分があり、今後の業務に取り入れてみたいと感じました。下肢撮影のご講義では、実際の症例を用いて骨折の発生機序から撮影、治療方法までを一連の流れでお話しいただきました。受傷原因ごとに実際の画像を用いて解説していただき、とても分かり

やすい内容でした。特に救急領域などでは、患者さんの受傷状況や状態から受傷機転を考えることが重要であると再認識しました。椎体撮影のご講義では、頸椎から胸腰椎にかけての撮影方法を具体的な症例を交えてご講義いただきました。発生機序や年齢、部位ごとに生じやすい疾患を細かく解説いただき、とても勉強になりました。整形領域の撮影では、骨だけでなく軟部組織の所見も気にしながら撮影、画像処理を行っていきたいと思いました。

今回、一般撮影をテーマとしたサマーセミナーに参加させていただき、基本的な撮影方法から救急領域で用いるイレギュラーな撮影方法まで幅広く勉強させていただきました。また、検査をする上で患者さんの状態や受傷機転を理解することが、とても大切であることを再認識することができました。これは、一般撮影だけでなく、どのモダリティにも共通して言えることであると思うので、これから日々の業務に活かしていきたいと考えております。

最後に、このような貴重な機会を設けていただきました東京都診療放射線技師会、関係者皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます。



日本診療放射線技師連盟 2023 No. 9 ニュース (通巻No.89)

発行日 令和5年9月22日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 9月12日(火) 田村憲久 第12回社会保障勉強会に出席
- ② 9月16日(土) 三ツ林ひろみ 国政報告会に出席



事務局からのお願い

畠元将吾代議士後援の自民入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟





超音波画像研究会

第29回腹部エコー初心者講習会

超音波検査を始めよう、または始めて間もない医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方を対象とした講習会で、講義と実技の二本立てで、二日間の日程で開催致します。

初日は超音波画像の成り立ちや画像調整から各臓器のマルクマールとなる超音波解剖を分かりやすく解説致します。二日目は初日の講義を基に、装置1台につき4~5名前後で実習を行い、実際に走査をしながら基本断面の描出を目指していきます。

日 時：2023年11月25日（土）14時30分～17時40分
11月26日（日） 9時00分～17時00分

会 場：エムティ・エンド・エムティビー（株）
(東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス12F セミナールーム)

定 員：20名（定員となり次第受付を終了致します。また、最低開催人数に達しない場合は費用返却の上、中止する場合もあります。）

参 加 費：25,000円（昼食含む）
(会費は事前に銀行振り込みとなります。)

申し込み方法：E-mail・郵送にて
(申し込みに関する詳細は超音波画像研究会ホームページをご覧ください。)

超音波画像研究会ホームページ：

<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

お問い合わせ先：超音波画像研究会（群馬県高崎市間屋町3-3-4）

E-mail：us.image.workshop@gmail.com

TEL：027-388-8627（10時00分～17時00分まで）

会員動向

2023年4月～9月期

年月	月末会員数	新入	転入	転出	退会
2022年度末集計	2,448	210	38	31	90
2023年 4月	2,477	26	8	3	2
2023年 5月	2,512	32	5	1	1
2023年 6月	2,549	36	5	1	3
2023年 7月	2,584	32	4	1	0
2023年 8月	2,606	25	0	1	2
2023年 9月	2,620	15	0	0	1

東 放 見 聞 錄

私と焼肉

私は焼肉が大好きだ。お腹が空いた時や疲労回復、自分へのご褒美、友人や家族との食事など食べる理由はさまざまだ。世の中には毎日焼肉という人も存在しているが、頻度はそこまでではない。焼肉時間を感じて楽しむスタイルだ。私は1人でも気にしないタイプだが、コロナが流行る前は1人で焼肉をしている人はとても少なかったように見える。ところがコロナがきっかけで、焼肉もそうだが、“1人〇〇”が当たり前の世の中になってきた。

映画・遊園地・旅・カラオケ・ラーメン・食べ放題・回転寿司なども〇〇に入ることが増えた。1人は寂しいという考えは捨てて、色々な“1人〇〇”に挑戦するのもアリだと思った。話を焼肉に戻す。焼肉の魅力は、日本料理と同じ五感で楽しめる料理であることだ。また完成した料理ではなく、調理人と接客担当と客が三位一体となって料理を完成させるという店との共同作業も魅力だ。まず提供された生肉を目で見て楽しんで（視覚）、器や環境をスパイスに自分好みに肉を焼く。ジュージューという音を聴きながら（聴覚）、焼き加減と味を想像する。同時に香ばしい匂いが立ち込めてきたら（嗅覚）もう食欲は頂点に達する。まずは肉だけで味わい（味覚）、肉を噛んで歯ざわり（触覚）を楽しむ。至福の瞬間である。好きな部位はカルビ系・サーロインだ。それを岩塩とわさびで味わう。原稿を書いている今も食べたい衝動に駆られている。焼肉よ、永遠なれ！

サーロイン・ヨーコ

News

11月号

日 時：2023年9月7日（木）
午後7時00分～8時00分
場 所：インターネット回線上
出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、
宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、
市川篤志、小林隆幸、原子 満、鮎川幸司、
関谷 薫、増田祥代、布川嘉信
出席監事：野田扇三郎、白木 尚
指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4
地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊
佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区
委員長）、大津元春（第8地区委員長）、澤田恒
久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委
員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、小野賢
太（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、青木
淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）
欠席理事：長谷川雅一、渡辺靖志（議事終了後に参加）
欠席監事：なし
議 長：江田哲男（会長）
司 会：関 真一（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

本日もご多忙の中、理事会にご参集いただき感謝する。9月に入って秋のイベント等が続く季節になるが、皆さまにおかれましては余裕を持った事業活動を実施していくことを希望する。計画通りに進めていただきたいのでよろしくお願いする。11月に関しては、ペイシメントケア学術大会が控えている。この事業については、学術教育委員会のみではなくTART全員で開催していきたいと思っているので、ご協力ご支援をお願いする。本日も皆さまからのご意見、そして実りある議論をしていきたいと思いますのでよろしくお願いする。

理事会定数確認

出席：15名、欠席：2名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

ボウリング大会で12チーム47名参加したことを報告する。入会促進委員会から9月1日に皆さまのところに配布した会誌、HPにフライヤーの掲載をした。今後はHPの中にTARTの活動画像などを含めた入会促進につながる情報を提供していくと考えている。また、入会案内のリーフレットを1月までに作成することも検討している。次にJART関係でご報告が

ある。まず、JARTの全国地区責任者会議の資料にもあるように、JARTでは、ヴィジョン2040というテーマで将来の診療放射線技師の継続と発展に向けて事業活動を展開していくことの説明があった。この中には長期・中期・短期という目標がそれぞれ定められている。このことを皆さまにも認識していただきたい。長期目標に関しては、国民から求められる新たな役割の獲得、中期目標に関しては、5年後に組織率70%、四病協、養成機関との連携強化、管理者の育成とラダーの活用、診療放射線技師の強化、短期目標としては、1～2年で組織率を上げる行動、事業活動、組織等については資料に記載されている通りに展開していくとのこと。それ以外の細かいことは皆さまでご確認をお願いする。もう一つは、技師会発開発団体基金活用依頼というものがあり、昨年度も同様に国からの補助金があった。告示研修の費用を病院がしっかりとやれば病院に対して補助金を出すというものだが、昨年度はほとんど使われていない状況であった。告示研修を行っている3職種の職能団体が併せて依頼状を発送して各施設に展開していくことが述べられた。対象となる施設は22施設。対象となる施設を各地区の方々に認識をしていただきたい。今後は、事務局からこの対象施設に対して、依頼状を発送していく。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野俊充 理事

・活動報告書に追加なし。

Zoomの契約の更新日が9月であり、昨年と同様に本部、専門部、支部という形で契約更新をしたことを報告する。昨年より費用は安くなっている。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動

テーマ：「荒川クリーンエイド2023」

日 時：2023年10月29日(日)10:00～12:00

場 所：北区 荒川岩淵閑緑地

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

②第147回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ：造影剤副作用に対する取り組みと院内緊急コール症例の解析

日 時：2023年11月21日(火)19:00～20:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

③第14地区研修会（Web開催）

テーマ：学生の就職動向「Z世代学生の就職動向」

日 時：2023年11月24日(金)19:00～19:45

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

④第5地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ：急性期脳梗塞診療の最前線－患者さんを救う脳卒中診療の【脳力：knowledge】を高めよう－

日 時：2023年12月1日(金)19:00～20:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター+
Web開催

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

⑤第12地区研修会（Web開催）

テーマ：整形外科医に聞く 骨粗鬆症における画像解析の必要性－DEXA法、CT画像再構成－

日 時：2024年2月8日(木)19:00～20:00

場 所：東大和病院

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

2) 新春のつどいについて

鈴木雄一 総務委員長：

コロナ禍でここ数年開催されていなかったが、本年度は開催したい。会場予約のため来年の1月12日(金)に開催を決定したい。参加費については検討している。上記について審議した。

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

3) 超音波スクリーニング研修講演会2023東京 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

特定非営利活動法人超音波スクリーニングネットワークより2023年12月16日に開催される講演会の後援及び名義申請の依頼、またHPに講演会開催の掲載の依頼があったので審議承認をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

7月：新入会32名、転入4名、転出1名

8月：新入会25名、転出1名、退会2名

【承認：15名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第16地区：

支部合同で使用できるZoomですが、今後も使用しますので、各支部で使用できるように契約することは可能でしょうか？

→野口幸作 副会長：

現在、複数契約をしている。兼用でも対応させていただくので、現状で支障があれば連絡をお願いしたい。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

9月号の会誌にも掲載されているが、日本診療放射線技師会の永年勤続表彰の候補者に対して案内を送付した。昨年以前に資格のあった候補者に対しては案内を送付していないので、各地区でお声かけをお願いしたい。

関 真一 副会長：

事務所にAEDを設置しているが、バッテリー不足で数秒おきに警告音が鳴っている。消耗品となるため、バッテリーとパッドを交換させていただく予定である。見積もりは配布資料にあるためご確認いただきたい。

市川篤志 学術委員長：

ペイシェントケア学術大会に関して、シンポジウム

の講師の先生が全て決定したのでご報告する。ソウル特別市放射線士会による特別公演の講師は未定である。都民公開講座のポスターに関して、先日の専門部委員会で指摘を受けたため修正した。今後会誌に掲載できるよう調整する。大会の記録係に関して、編集委員会にお願いしたいと考えており、可能であれば会場の設備あるいはボイスレコーダーを使用する。写真係に関しては、編集委員会および各支部の方々にもご協力をお願いしたい。懇親会に関しては今後検討する。

江田哲男 会長：

冒頭でも述べたが、ペイシェントケア学術大会には皆さまにぜひご参加していただくようご協力をお願いしたい。

浅沼雅康 編集委員長：

ペイシェントケア学術大会に関して、今大会では編集委員会で予稿集を作成する。また入会促進のチラシに関して、9月号の会誌に同封する。各施設で有用活用していただきたい。今後は入会促進のチラシを増刷し、各イベントなどで配布する予定である。

江田哲男 会長：

次年度の事業計画に関して、来月より下半期に入り検討を始める時期となる。皆さまには是非ともマンネリ化とならないよう、何か新しい取り組みができるようにアイデアを頂きたい。大きい事業活動には予算が必要となるが、入会促進につながる内容であれば前向

きに検討させていただく。来月の理事会で総務委員会から予算書などの書類を送付する予定である。皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

今回の理事会では、各地区および専門部で委員の新任、変更申請が議案となる。次回以降は、来年4月の理事会となってしまうため、申請する場合は申請書と名簿のご提出をお願いしたい。来月の理事会では退任の申請は受理するが、あくまで退任は任期満了時であることをご理解いただきたい。また9月の専門部委員会に関して、9月29日から第39回日本診療放射線技師学術大会が開催されるため、専門部委員会は9月27日に行う。これに伴い、資料の提出日は9月25日とさせていただきたい。今年は東京都の立入検査が10月25日に行われるため、事業申請などの書類は早めに提出していただきたい。先程、江田会長からもご説明があったが、次年度の事業計画に関連して、各地区で予算に関してもご確認いただきたい。例年では12月の理事会で次年度の事業計画案を提出していただかが、可能であれば早めにご提出をお願いしたい。来月の理事会で申請書類を送付する。皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。

以上

お詫びと訂正

「東京放射線」2023年10月号の会告4「第18回ペイシェントケア学術大会」の一部において、誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。

「プログラム」シンポジウム

(誤) 「KNI 北原国際病院 森田真由美 氏(看護師)」

(正) 「KNI 北原国際病院 森口真由美 氏(看護師)」

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員会

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会

第18回ペイシェントケア学術大会	2023年11月25日（土）
------------------	----------------

第23回メディカルマネジメント研修会	未定
--------------------	----

☆第21回ウインターセミナー	未定
----------------	----

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

第147回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2023年11月21日（火）
--------------------------	----------------

☆3. 第23回東放技・東京支部合同学術講演会	未定
-------------------------	----

4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会	未定
--------------	----

☆5. 支部研修会

城西支部研修会 Web開催	2023年11月10日（金）
---------------	----------------

城南・城北・多摩支部研修会	未定
---------------	----

6. 地区研修会

第13地区研修会 Web開催	2023年11月9日（木）
----------------	---------------

第14地区研修会 Web開催	2023年11月24日（金）
----------------	----------------

第5地区研修会 ハイブリッド開催	2023年12月1日（金）
------------------	---------------

第11地区研修会	2024年1月25日（木）
----------	---------------

第12地区研修会 Web開催	2024年2月8日（木）
----------------	--------------

7. 専門部委員会研修会

SR推進委員会研修会	未定
------------	----

8. 地球環境保全活動

9. 東放技参加 行政祭り等

OTAふれあいフェスタ2023	2023年11月4日（土）～5日（日）
-----------------	---------------------

東村山市民健康のつどい	2023年11月11日（土）～12日（日）
-------------	-----------------------

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

東 放 見 聞 錄

「四十の手習い？」

本来は「六十の手習い」：年を取ってから学問や習い事を始めること。

六十まではもう少しありますが今回46歳になってサーフィンを始めたので、そのことについて書かせてもらいました。

東京オリンピックでサーフィンという競技を見るまで、サーフィンとは波の上を板で乗る。競技サーフィンといったら3メートルくらいの波のトンネルになっている部分をくぐり抜けるサーファス顔負けの妙技をする。サーフィンに対して失礼ながらそんな貧困なイメージしかありませんでしたが、東京オリンピックから正式種目となり、自分のようにあまり興味のなかった人間でもサーフィンを目にすることになりました。試合を見ることでサーフィンに対して自分の持っていた変な認識は変わりました。

オリンピック中はサーフィンのにわかファンとなり日本選手を応援させてもらいました。同時にあんなに上手く波に乗れたらかっこいいなとひそかに思いました。

昨年、息子（小5）の同級生が宮崎に旅行に行った際に家族でサーフィンをやったという話を学校で聞いてきて、それを家で楽しそうに話していました。どうやらそれがうらやましく自分もやってみたいということのようでした。

その同級生が「初めてだったけど乗れたよ」と言っていたとのことで、子どもでも乗れるものなんだと思うと同時に前年のオリンピックでサーフィンを見たときに上手く波に乗れたらかっこいいだろうという気持ちが蘇ってきました。家族の中でもサーフィンの話が盛り上がり、我が家も行こう！ということになりました。

とりあえず初心者はスクールに入りイロハを学ぶのがベター。ということでネット検索するとたくさんのスクールがヒットしました。湘南近辺は都内から近くて便利ですがかなり混むとのことで、都内からならアクセスもそこまで悪くなく湘南に比べたら混んでいない千葉が良いとの情報を聞いたので千葉のスクールを選ぶことにしました。

場所も日程も決まり、当日までにすることといったらイメージトレーニングではないかと。休日、家族がそろう夜にはYouTubeを見ながら布団の上でイメージトレーニングを繰り返し、波に乗れるイメージは完璧に出来上りました。50近いおじさんでも意外と乗ってしまうのでは？と思いました。

がしかし、波に乗れているイメージとは程遠く。乗れない。乗れない。乗れない。乗れ…ない。乗れたー！（乗れたといつても波に乗れたのではなくボードの上に立てただけ…）。乗れない。乗れない…たまたまボードの上に立てた… の繰り返しでした。

スクールの練習時間が半分経ったか経たないかくらいで運動不足なのか、普段使わない筋肉を使っているからかは不明ですがパドリングもままならなくなっていました。

ティクオフの時、先生に「もっとパドリング頑張ってー」と言われ、自分では必死にパドリングをしているのですが、先生が撮影してくれていたビデオを見るとスローで再生していますか？と聞きたくなるくらい腕がゆっくり動いていました。先生が「頑張って！」と言いたくなるのもうなずけました（汗）。

たった2時間のスクールでしたが、帰りの運転が心配になるほどクタクタになりました。

子どもたちは親とは違い、身軽だからかボードの上に立てる回数が多く最後まで楽しみながら教えてもらっていました。2時間のスクール後も半日海で遊んでいました。

限界まで遊んだからか帰りの車では現地を出発した直後に静かになり家まで一度も目を覚ますことなく寝ていました。

サーフィンは家の近所でできるものではないのでちょっと乗りに行こうかとはいきませんが、その後、去年は3回、今年は2回行きました。

すべてでスクールに参加し、少しづつはできるようになってきましたが、何回か行くうちにもっとうまくなりたいと欲がでてきました。

スクール以外でも自主練ができると勢い余りボードとウエットスーツを購入してしまいました。自分のものだけでなく妻も巻き込もうと妻の分まで…

来年の春先からできるよう道具の準備は万端です。

あとは長時間練習でもバテない体力をこの冬の間にかけておこうと思います。

キャンプ好きのアラフィフおやじ

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

X線CT装置

NAEOTOM Alpha with Quantum Technology **CT redefined.**

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。
世界初*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。
フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。
QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、
より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

*2022年2月 自社調べ



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ネオトムAlpha 認証番号: 304AIBZX00004000

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: <https://www.jmb88.co.jp>

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

Postscript

最 近では電車内でもマスクをしている人は少数派となってきました。医療機関に勤めている身としましては、マスクをせずにくしゃみや咳をしている人を見ると少し不安に感じてしまいます。また、今年は例年より早くにインフルエンザが流行しはじめ、多少減少の兆しありますが、依然として新型コロナの感染者も多い状況が続いていること、心配が絶えません。

そんな中、娘の学校では先月体育祭がありました。校庭ではありましたが、全校生徒が集まり、多くの親御さん達が観にきていました。9月でしたがまだまだ残暑も厳しく、やはりマスクをしている人の方が少なかったです。因果関係は定かではありませんが、体育祭後の通常授業再開時にはインフルエンザ、新型コロナ感染、体調不良者が続出し、娘のクラスでは約半数が休みで学級閉鎖からの学校閉鎖となってしまいました。娘の見解ではありますが、残った生徒はマスクをしている子が多くいたそうです。

今回のこともあり個人的にはまだまだ室外でも大勢の人が集まったり、大きな声を出したりするところではマスクを着用するなどの自己防衛は必要だなと感じました。

今年は平年以上に真夏日が続いたり、寒暖差が大きかったりと体調を崩しやすい日が続いていますが、皆さんもお身体にはお気をつけてお過ごしください。

B.F.S



■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
富士フィルムヘルスケア(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)
シーメンスヘルスケア(株)

東京放射線 第70巻 第10号

令和5年10月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和5年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一